

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3198766号
(U3198766)

(45) 発行日 平成27年7月23日(2015.7.23)

(24) 登録日 平成27年7月1日(2015.7.1)

(51) Int.Cl. F 1
B 2 5 C 5/02 (2006.01) B 2 5 C 5/02 Z
B 2 6 B 27/00 (2006.01) B 2 6 B 27/00 E

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2015-2252 (U2015-2252)
 (22) 出願日 平成27年5月8日(2015.5.8)

(73) 実用新案権者 598124054
 曾木 正文
 愛知県名古屋市緑区姥子山4丁目116
 (73) 実用新案権者 513283545
 官崎 弥生
 愛知県春日井市小野町5丁目83-1 ル
 ボォワール201号
 (74) 代理人 100083068
 弁理士 竹中 一宣
 (72) 考案者 曾木 正文
 名古屋市緑区姥子山4丁目116
 (72) 考案者 官崎 弥生
 愛知県春日井市小野町5丁目83-1 ル
 ヴォワール201号

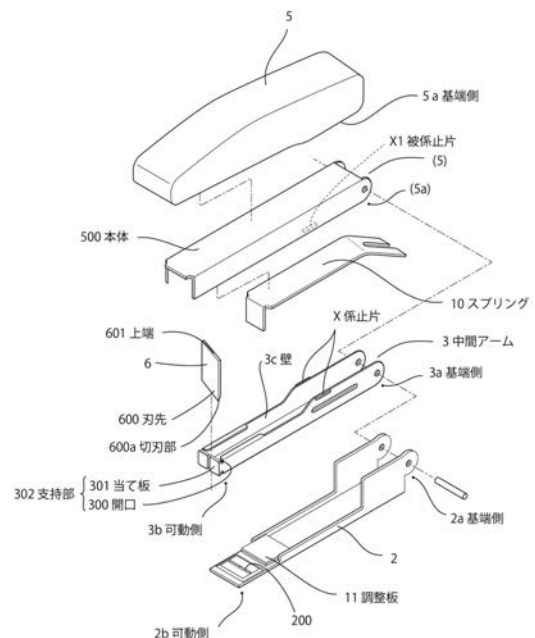
(54) 【考案の名称】 擬似ステイプラーカッタ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】カッタがアームでカバーされ、安全性と使用の簡便性が優れて、カッタの切れが悪くなった場合は、取換が容易で使い勝っての良い擬似ステイプラーカッタを提供する。

【解決手段】ベース2に基端側を枢着した中間アーム3とハンドル5とで構成された擬似ステイプラーカッタにおいて、中間アームの可動側3bに設けた開口300と当て板301との間に形成した支持部302に、カッタ6を抜き差し可能に支持する。これにより、利用範囲を拡充し、一部のステイプラーを兼用して使用でき、また、道具の無駄が無くなる。さらに、カッタの入替えを利用して、利き手の方向に関係なく、使用できる。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

ベースに基端側を枢着した中間アーム、及びハンドルとで構成された擬似ステイブラーカッタにおいて、

前記中間アームの可動側に設けた開口と当て板との間に形成した支持部に、カッタを抜き差し可能に支持する構成とした擬似ステイブラーカッタ。

【請求項 2】

前記カッタは、その上端（カッタの背側）が、前記ハンドルの可動側で、かつ内面天井に衝止支持される構成とした請求項 1 に記載の擬似ステイブラーカッタ。

【請求項 3】

前記カッタは、市販製の折刃とする構成とした請求項 1 に記載の擬似ステイブラーカッタ。

【請求項 4】

前記擬似ステイブラーは、市販製のステイブラーとする構成とした請求項 1 に記載の擬似ステイブラーカッタ。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、擬似ステイブラーカッタに関し、詳細は、市販のステイブラーと、市販の折刃との組合せでなる擬似ステイブラーカッタの考案である。

【背景技術】**【0002】**

従来、この種の擬似ステイブラーカッタとしては、ステイブラー形を基台として、カッタを取付けた構造であり、擬似ステイブラーとカッタとは、一体構造である。従って、鋏、又はハンド式カッタと異なり、通常は、カッタがアーム等の部材で、カバーされており、安全性と使用の簡便性が優れており、かつそのまま放置しても、この安全性等が確保され、重宝されている。しかし、その反面で、例えば、カッタの切れが悪くなった場合には、取換ができないケースが多く、利用範囲の限定と、道具の無駄となること、等の問題が考えられる。また、カッタの歯の向きの関係で、利き手の方向により、使用できないこと等の問題も抱えている。

【0003】

前述した、擬似ステイブラーカッタに関する文献として、実開昭 63 - 143280 号公報に記載の「切断器」とか、実開平 3 - 20965 号公報の「ローラー付きペーパーカッター」、或いは実開昭 63 - 169085 号公報の「カッターナイフ」が挙げられる。

【0004】

文献として挙げた、文献（1）～文献（3）は、前述した問題を抱えており、その改良、即ち、本考案が意図する下記の点を達成することが要望されていると考えられる。イ）利用範囲の限定と、道具の無駄となること、等を解消する。ロ）カッタの入替えを利用して、利き手の方向に関係なく、使用できること、等である。

【0005】

【特許文献 1】 実開昭 63 - 143280 号公報

【特許文献 2】 実開平 3 - 20965 号公報

【特許文献 3】 実開昭 63 - 169085 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0006】**

文献（1）～文献（3）は、従来と同様に、カッタの切れが悪くなった場合には、取換ができないケースが多く、利用範囲の限定と、道具の無駄となること、等の問題が考えられる。また、カッタの歯の向きの関係で、利き手の方向により、使用できないこと等の問題も抱えている。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

【0007】

本考案は、イ) 利用範囲の限定と、道具の無駄となること、等の解消をする。ロ) カッタの入替えを利用して、利き手の方向に関係なく、使用できること、等を意図する。そのために、請求項1～請求項4を提案する。

【考案の効果】

【0008】

請求項1の考案は、ベースに基端側を枢着した中間アーム、及びハンドルとで構成された擬似ステイプラーカッタにおいて、

中間アームの可動側に設けた開口と当て板との間に形成した支持部に、カッタを抜差し可能に支持する擬似ステイプラーカッタであり、イ) 利用範囲を拡充し、一部のステイプラーを兼用して使用できることで、道具の無駄となくし得ること、等の特徴がある。ロ) カッタの入替えを利用して、利き手の方向に関係なく、使用できること、等の実益がある。

10

【0009】

請求項2の考案は、カッタは、その上端(カッタの背側)が、ハンドルの可動側で、かつ内面天井に衝止支持される擬似ステイプラーカッタであり、請求項1と同じ特徴を達成できること、又は折刃を確実にセットできることで、取付けの安定性と、カッタとしての役割、及び切断作業の確実な達成ができる実益がある。

【0010】

請求項3の考案は、カッタは、市販製の折刃とする擬似ステイプラーカッタであり、請求項1と同じ特徴を達成できること、又は折刃の汎用性と再利用で、低コスト化と実用性等を達成できること、部材の正確性と精度の安定性に寄与できること、カッタとしての役割、及び切断作業の確実な達成ができる実益がある。

20

【0011】

請求項4の考案は、擬似ステイプラーは、市販製のステイプラーとする擬似ステイプラーカッタであり、請求項1と同じ特徴を達成できること、又は折刃の汎用性と再利用で、低コスト化と実用性等を達成できること、部材の正確性と精度の安定性に寄与できること、カッタとしての役割、及び切断作業の確実な達成ができる実益がある。

【図面の簡単な説明】

30

【0012】

【図1】本考案の一例の全体の斜視図

【図2】図1の分解斜視図

【図3】図1の要部の一部省略の断面図

【図4】本考案のカッタの一例を示した斜視図

【図5】本考案の他の一例の全体の斜視図

【図6】(イ)と(ロ)は、本考案の使用状態の一例を示した斜視図

【考案を実施するための形態】

【0013】

以下、本考案の好ましい、一実施例を説明する。

40

【0014】

図中1はステイプラーで、図1～図3は市販の構造であり、図5は市販の構造を簡略化した構造である。いずれにしても、基本的な構造は共通する。

【0015】

ステイプラー1は、ベース2(基台)と、このベース2の基端側2aに枢着される、基端側3aを備えた後述するカッタ6を支持する中間アーム3(支持台)と、該基端側2aに枢着される、基端側5aを備えた該中間アーム3とカッタ6とを押えるハンドル5(押え片)とで構成される。

【0016】

ベース2の可動側2b(先端側)には、カッタ6の刃先600の切刃部600aが差込

50

まれる凹部 200 を備えている。

【0017】

前述の如く、ベース 2 には、ベース 2 より幅と長さが小さい中間アーム 3 が挿入されており（壁内に差込まれており）、その上に中間アーム 3 と、ベース 2 とを被嵌するように（ベース 2、及び / 又は、中間アーム 3 より幅と長さが大きい）ハンドル 5（本体と蓋体とでなる構成とする）が設けられる。また、ベース 2 の基端側 2 a には、中間アーム 3 の基端側 3 a と、ハンドル 5 の基端部 5 a が枢着されており、ベース 2 の基端側 2 a を支点として、中間アーム 3 と、ハンドル 5 とが揺動自在に構成される。また、ベース 2 を被嵌する中間アーム 3 と、又はベース 2、及び / 又は中間アーム 3 を被嵌するハンドル 5 とをそれぞれ開放可能とする。

10

【0018】

中間アーム 3 の可動側 3 b（先端側）には、カッタ 6（折刃「市販製が望ましい」）を差込み、かつカッタ 6 を支持する開口 300（筒孔）と当て板 301 とを備えている。少なくとも、開口 300 と当て板 301 とで、カッタ 6 の支持部 302 を形成するが限定されない。この支持部 302 には、カッタ 6 が抜差し（セット）できる。尚、中間アーム 3 の壁 3 c に係止片 X と、ハンドル 5 の内面に被係止片 X 1 を設け、係止片 X と被係止片 X 1 との係止で、中間アーム 3 にハンドル 5 が一次固定されるとともに、この中間アーム 3 の支持部 302 に差込んだカッタ 6 の上端 601（カッタ 6 の背側）は、ハンドル 5 の内面天井で衝止支持される。これにより、中間アーム 3 に、カッタ 6 が確実にセットされる。この状態で、ハンドル 5 と中間アーム 3 とを押圧すると、カッタ 6 がベース 2 の凹部 200 に近接するとともに、凹部 200 と切刃部 600 a とで切断が始まる。

20

【0019】

尚、10 はスプリングで、図示しないが、ハンドル 5 の天井内面 5 b に取付具で付設されるか、図示の如く、ハンドル 5 の本体 500 に取付具で付設されている。また、スプリング 10 の基端側 10 a の長片（符号なし）は、ハンドル 5 の押圧で、中間アーム 3 の本体部に衝止し、ハンドル 5 と中間アーム 3 との係止関係を維持し、また同じく基端側の短片（符号なし）は、中間アーム 3 より離間し、かつハンドル 5 と中間アーム 3 との係止関係を維持する。そして、スプリング 10 の基端側 10 a の短片は、ハンドル 5 と中間アーム 3 との押圧で、撓み（圧縮、又は延展等の如く、緊張され）、この短片は、ハンドル 5 と中間アーム 3 との押圧解除で、復帰し（緊張緩和され）、ハンドル 5 と中間アーム 3 との復帰に機能する構造とする。また、図示しないが、短片に代替した、他のスプリングで、ハンドル 5 と中間アーム 3 との復帰を図る構造も可能である。

30

【0020】

図中 11 は調整板で、凹部 200 と切刃部 600 a との間を調整し（切刃部 600 a の露出寸法調整可能とし）、切断する紙、布等の切断物の厚みとか、その素材に対応する。また、同様に切刃部 600 a の露出寸法調整で、例えば、切断スピード、又は安全性の確保等に利用する。

【0021】

以上説明したステイプラー 1 は、市販製の構造を説明したが、この例に限定されない。例えば、図 5 の例では、中間アーム 3 には、開口 300（筒孔）のみでなる支持部 302 を設けた構造とする。その他図示しないが、例えば、ハンドル 5 に、蓋付き、ロック付き支持部 302 を設けて、中間アーム 3 を省略する構造（ステイプラー 1）、又はスプリング 10 を省略し、ベース 2 とハンドル 5 を可撓性等の押圧、及び / 又は、復帰可能な素材で形成した構造（ステイプラー 1）とか、スプリング 10 の形状、及び / 又は、機構を変更する（ステイプラー 1）等も可能である。

40

【0022】

本考案の使用状態（切断操作）を、図 6 の（イ）と（ロ）との一例を基に説明すると、ハンドル 5 と中間アーム 3（双方の場合には、ハンドル 5 等とする）、及びカッタ 6 と、ベース 2 との間に、切断対象物（紙、布、ビニール、各種袋等であり、例えば、紙 R とする）を差込む。続いて、ハンドル 5 等を押圧し、カッタ 6 の切刃部 600 a を紙 R に食込

50

ませる。この状態を維持しつつ、ステイプラー 1 を、右、又は左か、曲り、その他等の好みの方向「矢印方向」（利き手の好みの方向）に移動する。この所作により、カッタ 6 が露出せず、安全かつ安心して切断ができる。また、曲線、自由な線から、曲線（カーブ）、その他の線に沿って、好みの切断ができ、かつ容易にできる。切断が終了したならば、ハンドル 5 等に対する押圧を解除することで、ハンドル 5 等が、スプリング 10 の反力で復帰し、切刃部 600 a は、紙 R から離脱する。

【0023】

以上の一実施例、及び図面において説明した構造と効果等は、本考案の好ましい例を示したものである。従って、図示、及び / 又は、説明しない、他の実施例の説明、及び / 又は、図面においても、本考案と同様な効果と特徴を有する発明は、当然、本考案の範疇である。本考案では、右利きと、左利きとの擬似ステイプラーカッタとして、それぞれ提供し（カッタ 6 の切刃部 600 a の対応でも可能とし、利き手の方向調整ができる）、有利性と、他の器材とのマッチングを図りつつ、その慣習性に対応可能であり、重宝する。

10

【符号の説明】

【0024】

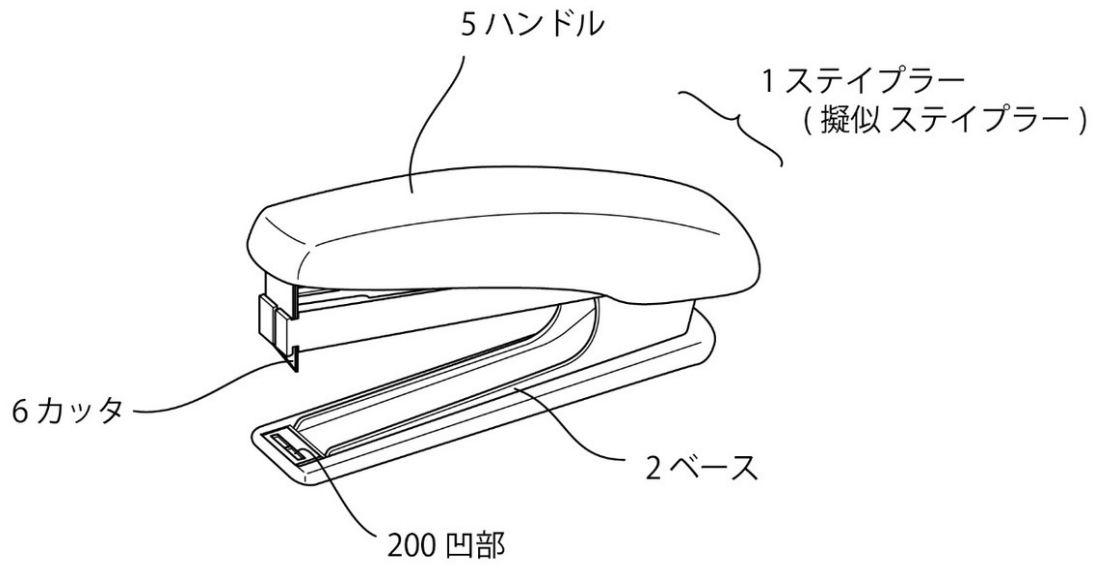
- 1 ステイプラー
- 2 ベース
- 2 a 基端側
- 2 b 可動側
- 200 凹部
- 3 中間アーム
- 3 a 基端側
- 3 b 可動側
- 3 c 壁
- 300 開口
- 301 当て板
- 302 支持部
- 5 ハンドル
- 5 a 基端側
- 5 b 天井内面
- 500 本体
- 6 カッタ
- 600 刃先
- 600 a 切刃部
- 601 上端
- 10 スプリング
- 10 a 基端側
- 11 調整板
- R 紙
- X 係止片
- X1 被係止片

20

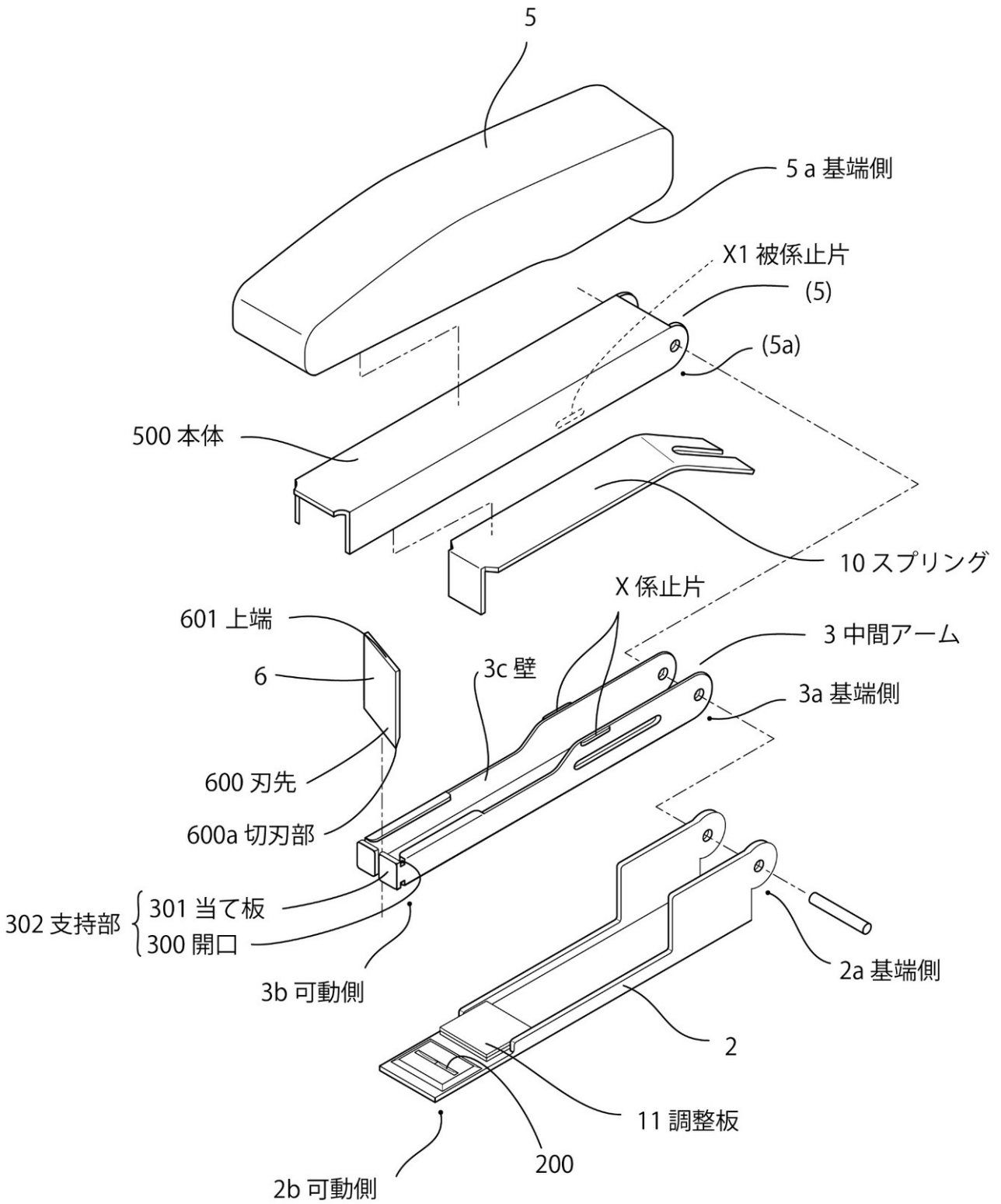
30

40

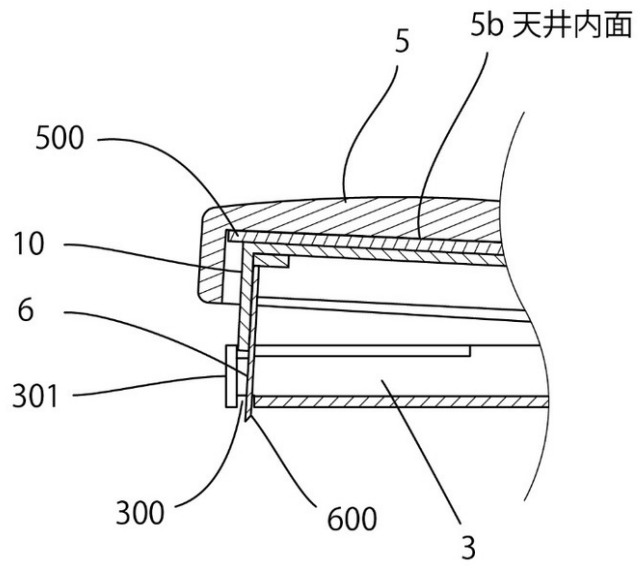
【図1】



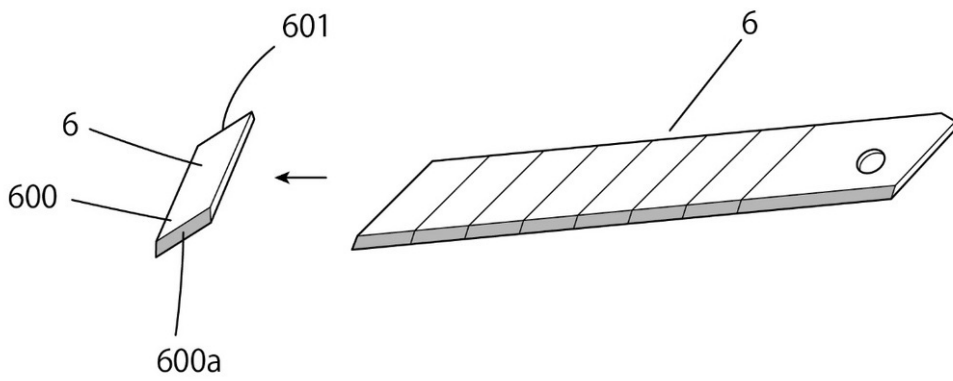
【 図 2 】



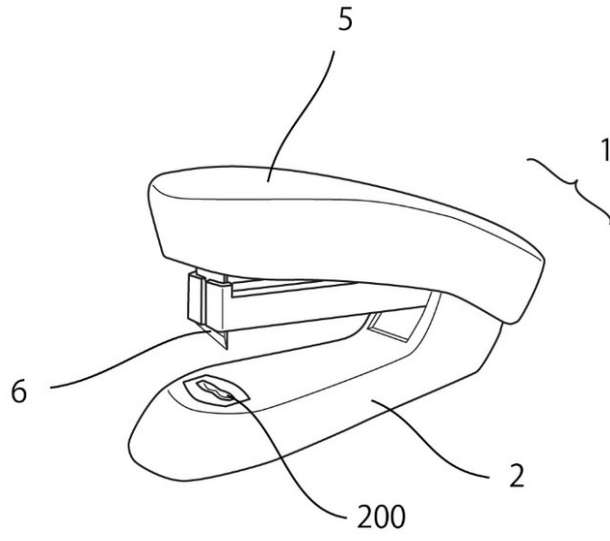
【 图 3 】



【 图 4 】

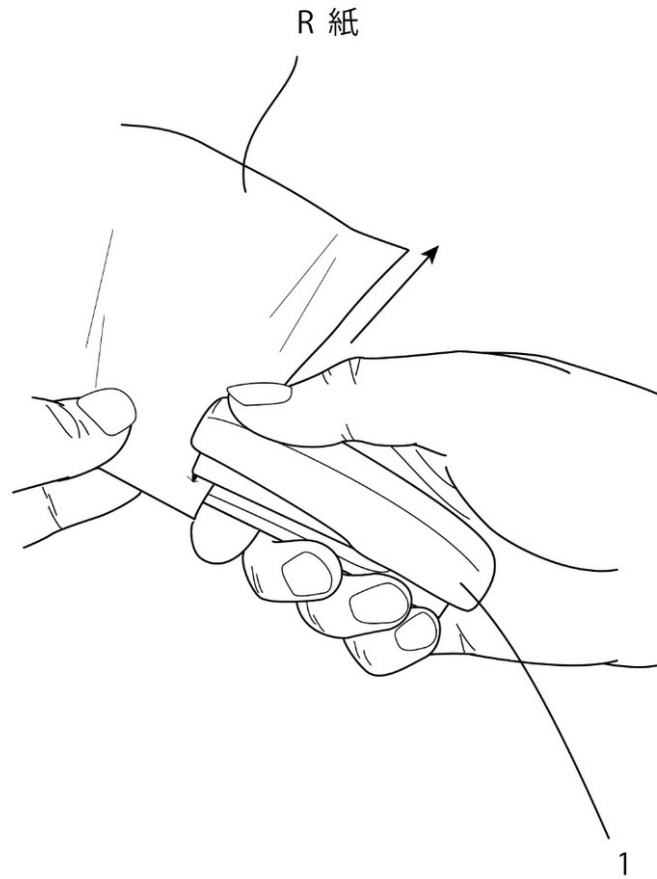


【 図 5 】



【図6】

(イ)



(ロ)

